



# しばた議会だより



- 9月会議
- 平成29年度決算 ..... 2
- みんなの税金使い方をチェック! ..... 8
- ここが聞きたい 16人の議員が一般質問 ..... 14
- 議会と話そう ..... 24
- 追跡あれはどうなった「学校給食センターの現状」 ..... 26
- あなたの一言(岩井 江美さん) ..... 28

「議会ネット中継」への  
QRコード

※詳しくは、柴田町ホームページ  
を参照してください。



みて みて

# 境の整備に重点!

学校のトイレ洋式化など

前年度比  
0.2%増

# 認定

一般会計の歳出決算

125億2,997万円

## 29年度決算

9月会議が9月3日から13日までの日程で開催されました。29年度の一般会計、各種特別会計及び水道事業の決算では、4人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、3日間をかけて詳細に審議した結果、全ての会計を全会一致で認定しました。

### 学校施設の大規模改造や 地方創生関連事業の推進

29年度決算は、一般会計歳出総額が125億2,997万円となりました。また、財政調整基金及び町債等管理基金は、過去最大を更新し16億8,640万円となり、さらに、特定目的基金には1億6,316万円を積み増しすることができました。

主な事業では、教育費として船岡小学校大規模改造工事や榎木小学校耐震補強工事及び学校施設大規模改造工事(暖房、照明、トイレの洋式化)を実施しました。地方創生関連事業では、フットパスコースの開発や観光物産交流館「さくらの里」の増築、船岡城址公園山頂売店「天空カフェ」の

新築などを実施しました。また、社会インフラ整備では、町道の舗装・改修や北船岡町営住宅4号棟の建設に着手しました。

### 主な特定目的基金

	積み増し額	29年度末残高
スポーツ振興基金	1億 93万円	4億 1,646万円
図書館建設基金	3,732万円	2億 3,764万円
学校給食センター建設等整備基金	2,491万円	1億 3,498万円

### 財政指標<健全化判断比率>

町長から報告された健全化判断比率を紹介します

#### ○実質公債費比率

27年度 5.5%  
28年度 3.7%  
29年度 3.1%

早期健全化基準 25.0%

※数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく、財政負担が少なくなります。

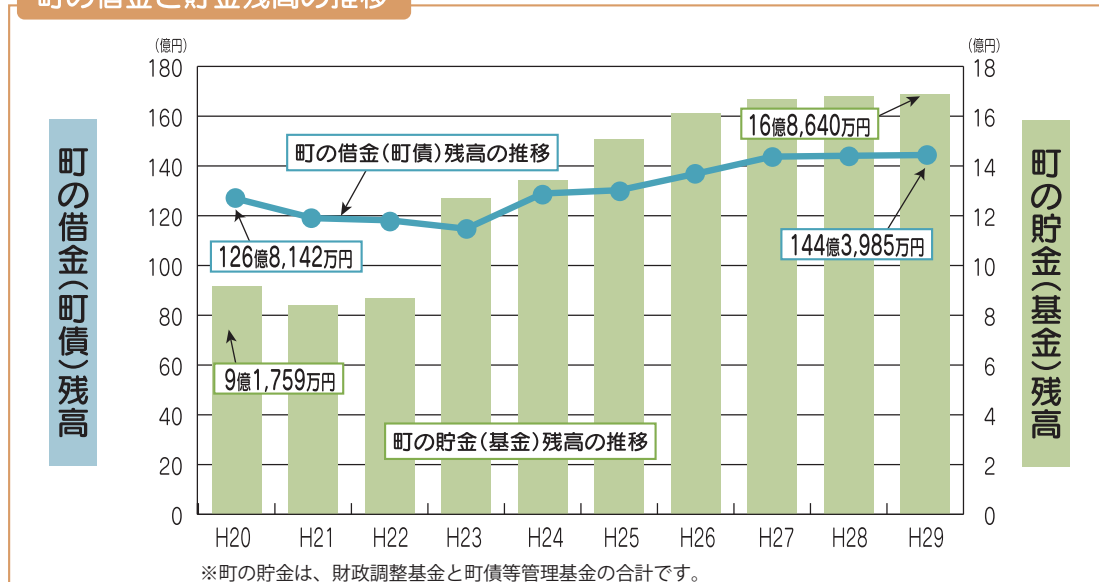
#### ○将来負担比率

27年度 69.5%  
28年度 46.0%  
29年度 41.2%

早期健全化基準 350%

※数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

### 町の借金と貯金残高の推移



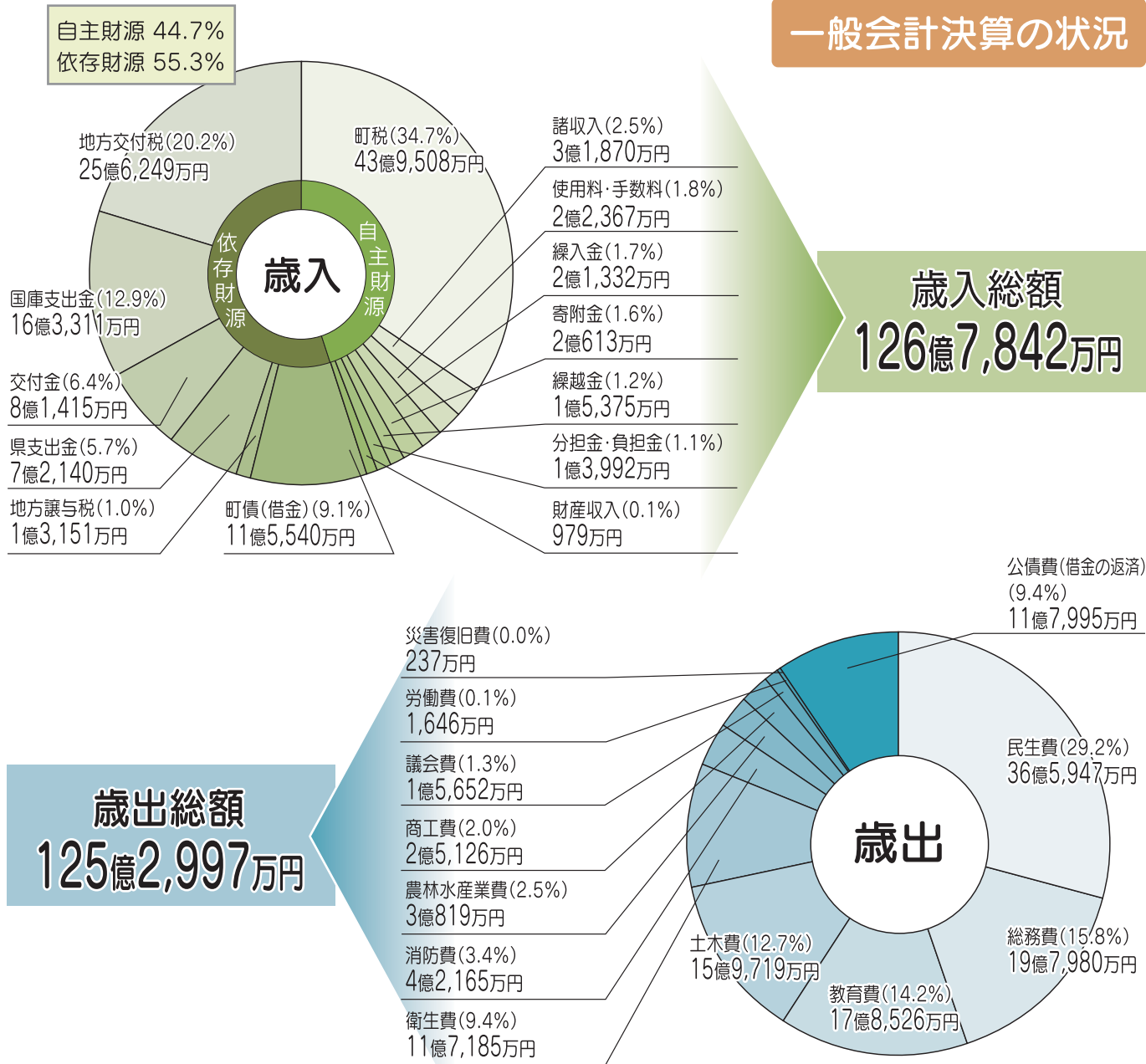
平成29年度

# 決算

# 安全で快適な教育環

船岡小学校大規模改造、東船岡小

## 一般会計決算の状況



### 監査意見書

代表監査委員 大宮 正博

監査委員 桜場 政行

29年度一般会計及び各種特別会計の決算審査の結果は、いずれも正確である。関係基金の運用状況も適正に運用されている。

なお、次の2点について留意が必要である。

#### (1) 財政見通しの確立を

今後において、大型施設整備が計画されている。多額の費用がかかることから、整備に当たっては財政見通しをしっかりと立てて進められたい。

#### (2) 収入未済額の縮減を

多額の収入未済額を計上している。負担の公平性を図り、自主財源を確保し健全な財政運営を行うため、収納率の向上と収入未済額の縮減が重要。債権管理について、一層の取り組みを進めること。

# 事業

平成29年度決算は、9月会議の決算審査特別委員会で審議し、認定しました。その中で議会が注目した事業を紹介します。



## 学校施設環境改善交付金事業

事業実績額 **4億231万円**

船岡小学校大規模改造工事など



槻木高岡山公園の遊具

## 都市公園等維持管理事業

事業実績額  
**1億6,494万円**



白石川千桜公園の疑木橋

## 小さな拠点の連携を核とした元気なまち創生プロジェクト事業

事業実績額 **3,519万円**

まちづくり会社補助・フットパス関連事業



しばたの未来株式会社



## 自然休養村事業

事業実績額 **711万円**

太陽の村ターザンロープ設置工事など

## ふるさと柴田応援推進事業

事業実績額 **2億8,960万円**

ポータルサイト3件活用、新聞広告など



お礼状やイベント情報

# 平成29年度 一般会計にみる 主な

## 「花のまち柴田」集客力向上による稼ぐ力強化事業

事業実績額 **8,356**万円



船岡城址公園山頂売店  
(天空カフェ)



船岡城址公園山頂周辺園路

観光物産交流館  
(さくらの里)の増築



## 町営住宅建設事業

事業実績額 **2億566**万円

北船岡町営住宅 4号棟の工事

## 放課後児童健全育成事業

事業実績額 **2,784**万円

船岡、船迫、槻木、東船岡、西住の5カ所で運営



槻木  
放課後児童  
クラブ



下名生  
剣水地区の  
排水ポンプ

## 雨水対策事業

事業実績額 **3,124**万円

堤防嵩上げ工事や排水ポンプの新設など

# 総 括 質 疑

4人の議員が町政全般にわたって質疑を行いました

## 総 括 質 疑



加藤 滋 議員

**問** 町税の収入未済額が大幅な良化となった要因は

(1) 歳入での町税が、3千507万円減となった。町民税の現状及び今後の人口減少社会による影響は。また町税の不納欠損額・収入未済額が大幅に良化した。その要因は。

(2) フットパスコースが開発された。町なかを快適に散策やウォーキングができるよう道路や歩道の整備、定期的な雑草の除去が必要では。

(3) 道路沿いにあるごみ集積所の設備は、箱型のスチール製が有効町としての対応は。

(4) 観光物産交流館売店の売上額は、約81％の目標達成率。その対策は。

**町長** 収納対策強化の成果があらわれたと考える

(1) 給与所得者の所得総計では約1・3割伸びている。今後も人口減少下での給与所得の動向に注視する。また、収納対策強化の成果があらわれ収入未済額の減となった。

(2) 社会資本整備総合交付金等で実施してきた道路補修が、交付金の対象外となり難しい状況となっている。緊急性や安全性を優先した道路整備や維持管理に努める。

(3) 町の地域づくり交付金などを活用し、計画的に交換する行政区も増えている。

(4) 今後は農産物以外の品ぞろえなどで売上増、鉢花直売会などで集客力を高める。

**問** 創業支援相談窓口での支援状況は

(1) 西日本豪雨災害のような雨が白石川上流に降った場合、外水氾濫の危険をどのように認識しているのか。七ヶ宿ダムは大丈夫とのことだが、村田町を流れる荒川など支流が増水した際には、本町にどのような影響があるかと想定しているか。

(2) 町は国から創業支援事業の認定を受け、商工観光課内に創業相談窓口を設けている。これまでの支援状況は。

**町長** 町と商工会合わせて5件が創業した

(1) 白石川の氾濫対策は、平成16年度までに本川築堤や河道掘削、支流の改修などが行われ、3年度には七ヶ宿ダムが完成したことで洪水調整機能の向上が図られている。荒川が増水した場合には本町へ何かしらの影響はある。31年度に全戸配布する防災マップでは被害リスクを見える化し、被害の範囲・避難所・災害時にとるべき行動などを掲載し、利便性の向上を図る。

(2) 柴田町商工会と連携して創業希望者の相談を受け付けている。29年度には、町と商工会合せて5件が創業した。

## 総 括 質 疑



森 淑子 議員



総括質疑

問

ワンランク上の自治体とは

町長の「5期目就任あいさつ」について伺う。

- (1) ワンランク上の自治体とは、具体的にどのような自治体なのか。
- (2) スローガンに「子どもたちには夢と教育を」とあるが、子どもの貧困や不登校児童生徒の多い中で、どのようにすれば子どもたちが夢を持ち、確かな学力を身につけ、将来に希望を持つことができるのか。
- (3) 柴田町をもっともっと有名にしたいとのことだが、有名になることが住民の満足度を高めることにはつながらない。なぜ有名にしたいのか。

町長

住民に信頼される自治体



白内恵美子 議員

- (1) 政策形成能力や専門的スキルをアップし、住民の立場に立って対応できる職員の育成、率先して問題を解決する役所への脱皮、時代を先取りした政策力と地域経営力を持って、住民ニーズに対応する信頼される自治体。
- (2) 国際化に対応できる子どもの育成、不登校児童生徒へ居場所の提供、待機児童の解消、相談体制の強化、これまで以上の教育環境を整備する。
- (3) 有名になることで、町なかに人・物・金・情報が集まり、消費機会が増え、新たな起業により町の活力を維持できる。

問

全国学力学習状況調査があった。本町の改善策は

近隣自治体の動きから事業結果に差が出てきている。活動の結果として町長の見解は。

- (1) 大河原町の介護保険基準額は3千900円、仙台大学と連携した介護予防事業を進めている。本町は5千400円で1.38倍、事業取組みと格差の理由は。
- (2) 全国学力・学習状況調査で大河原町は全国トップレベルの成績。本町の結果及びどの部分の改善が必要と考えているか。
- (3) 観光によるまちづくりは相互の文化交流に尽きる。近隣では友好親善交流事業を進め、人材育成中。本町でも必要では。

町長

英語での情報発信や、仙台大学連携の教育支援事業を継続しつつ



秋本好則 議員

- (1) 本町の保険料基準額5千400円は、県内6番目の安さ。65歳以上の高齢者の数、要介護認定者数・介護施設の整備数などで差が出てくる。介護予防事業は、仙台大学と連携して進めている。
- (2) 本町の学力は全国平均である。学習状況調査では全国平均を上回っている。英語での情報発信や仙台大学と連携した教育支援事業など、特色を生かした事業を継続する。
- (3) インバウンドによる経済効果は表れている。相互文化交流はインバウンド施策の骨格をなすもので、今後検討したい。

総括質疑

決算審査特別委員会

みんなの

# 税金チェック!

使い方を



## 歳入

財政課

自主財源確保を

**質疑** 諸収入などにおいて、自主財源確保の努力は。

**答弁** 今一番力を入れているのはふるさと納税で、29年度は2億円弱を基金に繰り入れた。あとは広告収入など。

**質疑** ふるさと納税はいつまで続くかわからない。自主財源確保に力を入れてなくてはならないのでは。

**答弁** 諸収入で考えられるのはネーミングライツと町有地の処分である。

財政課

臨時財政対策債の考え方は

**質疑** 臨時財政対策債は、今後も継続して利用するのか。また償還についての考えは。

**答弁** 償還は交付税で措置ということになってい

るが、確認は取れない。臨時財政対策債については、発行しない市町もあるが、本町にとっては、かけがえのない財源の一つと考えている。

財政課

交通安全対策特別交付金の使い道は

**質疑** 交通安全対策としてどのように使われたか。

**答弁** ガードフェンス、カーブミラー設置などに使われた。

## 歳出

総務課

防災指導員は

**質疑** 防災指導員として認定されたあとのフォローはされているか。

**答弁** 自主防災組織の中に172人の防災指導員がいる。今年は12月にフォローアップ研修会を開催する。

**質疑** 防災指導員の目標人数は。

**答弁** 各地区5人で、最終的には195人を目標としている。



防災指導員養成講習会





学生の利用が増えた阿武隈急行

まちづくり  
政策課

### 阿武隈急行の利用者は

**質疑** 阿武隈急行利用者は増えているのか。  
**答弁** 利用者は槻木駅41万7千510人、東船岡駅6万5千527人。28年度より槻木駅で約6千300人、東船岡駅で約6千800人増えている。

**質疑** 学校などの利用が増えている理由は。  
**答弁** 運賃の助成制度を学校に周知したため、利用が増えた。特に柴田高校陸上部の利用が、262件から743件と大幅に増えた。

まちづくり  
政策課

### 防犯灯の状況は

**質疑** 防犯灯の光熱費が14万8千円増えている。LED化で電気料金は下がるのではないかと。  
**答弁** 電気料金が平均26円値上がりしたこと、新規に80基増えたことで150万円弱増加した。

市建設課

### 道路の維持管理状況は

**質疑** 生活道路や側溝改修は地元要望の何パーセントが行われているのか。  
**答弁** 道路の維持部分だけだと要望は455件で、436件処理している。道路の穴埋めや、苦情があった道路脇の草刈りなどは直営で行っている。全体で要望の95・8％が処理している。

**質疑** 道路の維持管理費が年によって上下するのはなぜか。  
**答弁** 前年度からの繰り越し事業があると多くなる。国の補助制度が変わって、町の持ち出しが大きくなっており、本来であれば終わらなくてはならない事業が延びているのが現状。

福祉課

### 民生委員の研修は

**質疑** 民生委員・児童委員はどんな研修を受けているのか。  
**答弁** 介護保険関係、ゲートキーパー（自殺の危険を示すサインに気付

き支援につなげる）養成講座、生活保護制度、障がい者の就労についての研修、人権擁護など、基本的なことを研修している。

教育  
総務課

### 問題を抱える子どもたちの支援は

**質疑** 自立支援相談員の仕事は。  
**答弁** 問題を抱える児童生徒へ第三者的な立場で対応する。相談対応や学校内での声かけ、目くばせが大きな役割。

**質疑** スクールカウンセラーの仕事は。  
**答弁** 各小中学校に8人いる。週1回、1日6時

間学校において、児童生徒、教員、保護者の相談に乗っている。専門的見地から相談を受けていて担任の負担軽減が図られ、児童生徒にとって心の安定につながっている。



こどもの心のケアハウス



広場の様子

**子ども家庭課**  
子育て支援は

**質疑** 広場型の交流の場を増やせないか。

**答弁** 活動してもらう団体がないので増やせない。

**質疑** ひとり親家庭等日常生活支援事業の利用状況は。

**答弁** 28年に開設された事業で、29年は登録が1件で3回利用された。食事の世話や調理の支援をしている。

**質疑** 育児ヘルプサービスの利用状況は。

**答弁** 産前産後の母親のみの家庭に対するヘルパー派遣サービス。沐浴介助、食事支援、掃除、買い物支援を行っている。

29年は登録が3件、うち1件の方が7回利用した。母子保健と連携して、制度の紹介をしている。

**商工観光課**  
観光整備事業の内訳は

**質疑** 観光整備事業の事業ごとの内訳は。

**答弁** 大きな事業として、観光物産協会の指定管理料約1千600万円、シルバー人材センターの委託料約900万円。イベントでは菊花展補助金約355万円、紫陽花まつり約81万円となっている。

**健康推進課**  
国民健康保険の給付費は

**質疑** 保険給付費が前年比で微減になっている。本町は増える傾向にあったが、傾向が変わったのか。

**答弁** 28年度の薬価改定で価格が下がったためである。医療の診療部分が変わらない。

**質疑** 保険給付費の中で薬剤費の割合は。

**答弁** 外来の分しか把握していないが、約2割が薬剤費である。



健康まつり

●決算審査特別委員会出欠状況及び審議結果一覧

区分	主な内容	月日	議決者数△	出席者数△	賛成△	反対△	議決結果△	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内恵美子	水戸 義裕	高橋たい子
出欠状況	正副委員長の互選等	9.7	16					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度決算審査	9.10	16					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度決算審査	9.11	16					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度決算審査	9.12	16					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。 ※議長は決算審査特別委員にはならない。 ※「監」は監査委員として出席。

審議結果	認定番号	内容	月日	議決者数△	出席者数△	賛成△	反対△	議決結果△	森 裕樹	加藤 滋	安藤 義憲	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部 俊三	森 淑子	広沢 真	有賀 光子	舟山 彰	白内恵美子	水戸 義裕	高橋たい子
	認定第1号	平成29年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第2号	平成29年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第3号	平成29年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第4号	平成29年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第5号	平成29年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第6号	平成29年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	9.13	17	17	0		認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	認定第7号	平成29年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定	9.13	17	17	0		可 決 及び 認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

# 本会議出欠状況・議案などの審議結果

## ●本会議出欠状況及び審議結果一覧 9月・10月会議

区分	主な内容	月日	議決者数 出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子
出欠状況	9月会議	町政報告、一般質問	9.3	18			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問	9.4	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般質問、人事案件	9.5	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道の認定、条例、契約案件、補正予算	9.6	17				○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度各種決算上程・総括質疑	9.7	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度決算認定採決	9.13	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10月会議	補正予算	10.20	18				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。

審議結果	9月会議	10月会議	議題	月日	出席者数	賛成	反対	議決結果	森裕樹	加藤滋	安藤義憲	平間幸弘	桜場政行	吉田和夫	秋本好則	斎藤義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部俊三	森淑子	広沢真	有賀光子	舟山彰	白内恵美子	水戸義裕	高橋たい子	
審議結果	9月会議		諮問1号、諮問2号	9.5	17	17	0	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
			議案第5号	9.5	17	17	0	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
			議案第6号～15号	9.6	16	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
	10月会議		議案第16号	10.20	17	17	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。 ※「議」は表決時に議長のため、また、「-」は議場にいないため表決に参加していないことを表す。

## ○平成30年度柴田町議会 9月・10月会議

件名
諮問第1号、第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること <b>13ページに掲載</b>
議案第5号 教育委員の任命 <b>13ページに掲載</b>
議案第6号 町道路線の認定 <b>12ページに掲載</b>
議案第7号 柴田町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正 ・「地域再生法の一部を改正する法律」及び関連する省令の施行に伴い対象計画期間の延長と課税割合等を改正するもの
議案第8号 平成29年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼1号雨水幹線工事（繰越明許）請負契約 <b>12ページに掲載</b>
議案第9号 平成29年度柴田町・大河原町公共下水道事業鷺沼6号雨水幹線工事（繰越明許）請負契約 <b>12ページに掲載</b>
議案第10号 平成30年度柴田町一般会計補正予算 ・5億5,177万1千円増 <b>13ページに掲載</b>
議案第11号 平成30年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算 ・7,438万5千円増 29年度決算による繰越金の増額などの補正
議案第12号 平成30年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算 ・人事異動等に伴う人件費、29年度歳計剰余金確定に伴う財源の組み替えなどにかかる補正
議案第13号 平成30年度柴田町介護保険特別会計補正予算 ・29年度決算による歳計剰余金の繰り越し及び国県支出金の償還等による補正
議案第14号 平成30年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算 ・29年度決算による歳計剰余金の繰り越し後期高齢者医療保険料の収入見込みによる補正
議案第15号 平成30年度柴田町水道事業会計補正予算 ・人事異動に伴う人件費などの補正
議案第16号 平成30年度一般会計補正予算 ・2,916万円増 <b>13ページに掲載</b>

## 平成30年度 柴田町議会予定表 (11月1日現在)

月	日	内容	月	日	内容
11月	6日	議会広報研究会（県）、セミナー	H31年 1月	4日	議会広報常任委員会
	19日	行財政研修会		15～6日	文教厚生常任委員会
	27日	議会運営委員会		18日	議会広報常任委員会
12月	3～7日	12月会議		23～24日	産業建設常任委員会
	25～27日	議会広報常任委員会		25日	議員講座
	未定	全員協議会		28～29日	総務常任委員会
			2月	5日	仙南亘理議会合同研修会
				26日	議会運営委員会

待機児童  
解消に  
なるか？

# 来年度オープン予定！

## 槻木白幡2丁目・槻木上町3丁目に

来年4月1日、槻木地区に2カ所の小規模保育施設が開所予定です。  
両施設とも、定員は12名。0歳児から2歳児まで受け入れるとのこと。

9月会議では、29年度各種会計認証のほか、人事案件3件、条例改正1件、工事請負契約2件、補正予算6件などが提案され、審議の結果いずれも原案のとおり同意、可決しました。一般質問は、16人の議員が質問し、項目は31件でした。



30年4月に船岡久根浜にオープンした小規模保育施設「colors」

### 議案第6号

#### 町道路線の認定

四日市場字雨沼地内の農道を町道に認定するもの。

**質疑** この路線は未舗装であるが、舗装の予定はあるのか。  
**質疑** 下水道は入っているのか。  
**答弁** 下水道は既に埋設している。

**答弁** 町道認定後、他の路線も合わせて、年次計画で対応する。

### 議案第8号・第9号

#### 鷺沼1号・6号雨水幹線工事

鷺沼排水区の浸水被害を解消するための、公共下水道の雨水事業。

1号幹線工事は、町道清住18号線下に※ボックスカルバートを129財埋設する工事で、工事費は1億6千308万円。

6号幹線工事は、船岡山岸地内の県道白石柴田線側に県道巨理大河原川崎線を横断するように、ボックスカルバートを107財埋設する工事で、工事費は8千424万円。

**質疑** 開削工法の場合、地盤沈下など、周辺宅地への影響は。  
**質疑** 工事に伴う通行止めなどへの対応は。  
**答弁** 路線全てを通行規制するものではない。

**答弁** 無振動の施工を考えているので、近隣への影響はない。また、これまでも沈下は発生していない。

※ ボックスカルバートは地中に埋設される箱型の暗渠。道路、水路など各種用途に使用される。

9月会議

一般会計 5億5,518万円の増額補正

# 小規模保育施設2カ所

9月補正

ほ場整備による埋蔵文化財発掘調査費に1,347万円

平成30年度補正予算（9月会議）

会計区分	補正額	補正後の額
一般会計	5億5,518万円	124億8,601万円
特別会計	国民会計保険事業	40億1,257万円
	公共下水道事業	13億9,486万円
	介護保険	29億6,371万円
	後期高齢者医療	3億8,116万円

一般会計の補正による主な内容と予算額

事業名	予算額
小規模保育整備事業補助	3,358万円
里山ビジネス振興事業委託	400万円
船岡五間掘浚委託（排水機場前の浚渫作業）	400万円
里山ハイキングコース案内標示整備委託（深山コースの案内板を更新）	135万円
J R 槻木駅天井改修工事委託（1階改札口、コミュニティプラザの天井改修）	890万円
町道富沢16号線道路改良工事（側溝、約50mを整備）	200万円
東船岡小学校大規模改造工事実施設計業務委託	1,350万円
埋蔵文化財発掘事業（中名生・下名生地区、葉坂地区の調査）	1,347万円

議案第10号

ほ場整備区域の埋蔵文化財発掘は

**質疑** 中名生・下名生地区、葉坂地区の埋蔵文化財は、どのような状況か。

**答弁** 県が推進している両地区のほ場整備区域に、埋蔵文化財包蔵地がある。試掘の結果、一部に遺構が発見され本格調査が必要になった。県の文化財課が主体となり、町の郷土館を窓口とし、10月から調査を開始する。

J R 槻木駅天井改修工事は

**質疑** 槻木駅は、コミュニティプラザなど町の管理部分と、J R 東日本の管理部分があるが、天井改修工事は、どの範囲なのか。

**答弁** 改札口の天井の耐震補強対策工事で、J R 東日本と一緒に事業を行うもので、割合は、町が60割、J R 東日本が40割となっている。

10月会議

10月20日開催

## 小中学校にエアコンを整備！

財政調整基金2,916万円を取り崩し

**質疑** 金額（設置費）をベースに設計するのか、音、風、温度などの学習環境を重視した設計にするのか、その設計方針は。

**答弁** 国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特別交付金」という1年限りの交付金で、整備期間が限られていることから、現地調査を行うほか、設置後のランニングコストを含めた設備工事の設計試算をする。現況を把握し、安全性、騒音振動や温度など、教育環境に支障がないよう配慮する。

**議案第16号** 10月会議が10月20日に開催されました。議題は、一般会計補正予算1件で、審議の結果全会一致で可決されました。

これは、夏季の猛暑日において、児童生徒の熱中症予防と良好な学習環境づくりを進めるため、町内全ての小中学校の普通教室と特別教室にエアコンを整備する設計委託費用となります。今後、町は、国の補正予算を注視し、本町の申請が認められた場合、12月会議で、事業費の補正予算を提出します。

### 人事案件

諮問第1号・第2号

○人権擁護委員の推薦に同意

菅野 敏明氏（再任） 槻木字焼壇  
佐藤 峰子氏（再任） 船岡字新田

議案第5号

○教育委員会委員の任命に同意

加藤 真一氏（再任） 槻木白幡2丁目

# 一般質問



平間奈緒美 議員

**Q** 学校給食センターの現状は

**A** 経年劣化による衛生面の心配はない



イエーイ!! 楽しい給食タイム

**問** 学校給食センターの現状は。

**教育長** 学校給食衛生管理基準の遵守に最善を尽くし、衛生的な維持管理を最優先し、給食業務を行っている。

今年度は、施設面の改修として、洗浄消毒設備の改修と、屋上の防水改修工事などを行った。来年度は、調理室の床や吸排気のダクト関係の改修工事など当初予算に計上して実施予定。給食の実施日数など給食提供に影響が出ないよう今年度と

来年度の夏休み期間に実施することとしている。

**問** 経年劣化による衛生面の心配はない。

**教育長** 保健所からの指摘はあるか。

今年6月に実施された衛生管理指導では、床の水たまり箇所を計画的に改善すること、汚染区域と非汚染区域が明確に分かれていないことから現行のシステムを適切に運用することの2点について指導があった。そのほか改善すべき事項の指摘はなかった。

**問** 保護者への情報提供は。

**教育総務課長** 給食だよりなどで、状況を掲載しながらお知らせしていきたい。

**問** 新学校給食センター建設へ向けた、今後の計画は。

**教育総務課長** 今後、建設場所の選定、\*DBO方式を含めた建設手法など、さまざまな角度から調査・検討していく。

\*DBO方式は行政が起債・借入や交付金等により資金を調達し、施設的设计・建設・運営管理等を民間事業者に一括発注する方式。



舟山 彰 議員

**Q** 子どもの貧困対策はいかに

**A** 子どもの貧困対策整備計画を策定し推進



勉強したい子生まれ!! 放課後学習教室

東京で、地方議員向けの研修を受けた。そのテーマは子どもの貧困。大学の先生は、貧困の実態調査が重要、また、親の貧困対策が必要と述べ、大阪府や兵庫県明石市の先進的な貧困対策を紹介した。

**問** 本町の子どもへの貧困調査は。

**町長** 柴田町子どもの未来応援プラン「子どもへの貧困対策整備計画」を策定するに先立ち、アンケート調査を実施。

子育て世帯の経済的な状況が子どもの生活環境、将来に影響があると心配されることから、総合的な子どもの貧困対策を計画に基づき推進する。

**問** ひとり親家庭の状況についての把握は。

**町長** 約半数の世帯が生活困難層に分類される。ひとり親家庭の相談を受け、必要に応じて各支援制度の情報提供や関係機関の窓口を案内するなど、支援している。

**問** 夏休みに仙台大学が子ども向けの塾を開いた。町が子どもの貧困対策として無料学習塾を開く考えはないのか。

**町長** 町教育委員会では、児童生徒の自主学習の習慣化を図り学力向上を目指して、各小中学校の放課後に週2回放課後学習室を学校図書室などで実施。さらに、夏休みや冬休みを利用した学習会や中学3年生を対象とした受験力アップ学習会も開催している。

# 一般質問



吉田和夫 議員

**Q** ハザードマップ  
(災害予測地図)の  
活用は

**A** 31年度に新たな防災マップを  
全戸配付する



ハザードマップ (槻木地区)

**問** 本町のハザードマップ(災害予測地図)の活用は。

**町長** 27年5月の水防法の改正に伴い、28年6月に阿武隈川、29年5月に白石川の洪水浸水想定区域の見直しが行われている。さらに、30年度には県の土砂災害警戒区域が見直されていることから、31年度に新たな防災マップを全戸配付する。

**問** 白幡橋の長寿命化対策は。

**町長** 大河原土木事務所の話で、長寿命化対策

と耐震補強工事により、健全な状態が保たれているとの報告がある。

**問** 西船迫地区の土砂崩れ対策は。

**町長** 西船迫地区については、土石流危険箇所が5カ所、急傾斜地崩壊危険箇所が6カ所、地すべり危険区域が1カ所の合計12カ所が指定されているが、未整備の状況である。町では、地域住民に対し、日ごろの備えや、早目の避難について、啓発活動に努める。

**問** 町として、防災指導員・防災士を拡充できないか。

**町長** 防災指導員は、各防災組織に5人の配置を目標にしており、毎年、県の防災指導員養成講習には多くの方々が参加している。防災士は、防災に関する知識を持っているので、地域内に増えるのと防災リーダーとして活躍が期待されることから、拡充について検討する。

**Q** 白石川兩岸の  
氾濫対策を



加藤 滋 議員

**A** 河川の巡視や点検を  
定期的に行っている



町内を流れる白石川

**問** ※バックウォーター現象での越水や氾濫

**町長** 大河原土木事務所が、定期的に河川の巡視や点検を行い、堤防や護岸に異常があれば修繕や改修の措置を講じる。

**問** 土石流・土砂災害では、避難体制をどの

**都市建設課長** 21年度に、白石川の河川整備計画を見直した。今の計画で、安心・安全な堤防の高さに整備されている。

**問** 白石川の洪水浸水想定とされている区域は、三名生地区及び槻木地区が大部分を占めている。その氾濫対策は。

**町長** 三名生地区及び槻木地区が大部分を占めている。その氾濫対策は。

**問** 白石川は、約100年前に洪水が発生している。近年の事例から不安を感じるので、国や県への働きかけが必要では。

**町長** 近年の事例から不安を感じるので、国や県への働きかけが必要では。

**問** 町のメール配信サービスも有効と思うが、登録者数は。

**まちづくり政策課長** 現在、3千383アドレスである。

近年、過去に例を見ないような豪雨に伴う災害が発生している。町民の安全・安心な生活を守る対応について問う。

**都市建設課長** 国交省で、年に数回、航空写真や現地確認で調査しているが、確認されていない。

**総務課長** 仙台管区気象台の防災情報提供システム、県土砂災害警戒情報システムなどの情報を集約し、危険箇所に出す情報をいち早く掲示する。

※バックウォーター現象は豪雨時、川の本流に対して支流の水かさが増す現象

の可能性は。

ように周知するのか。